

件名	令和3年度 第4回 福井市障がい者自立支援協議会 居宅生活支援部会 報告書	作成日 令和4年3月18日(金)
日時	令和4年3月16日(水) 14:30~15:45	会場 会場：福井市ボランティアセンター+オンライン
進行内容	<p>1. 報告事項</p> <p>(1) WG 活動報告 第2回強度行動障害支援者学習・交流会</p> <p>(2) 「障がい者のためのクラブ・サークル紹介」の掲載について</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 次年度以降の強度行動障害支援者学習・交流会開催について</p> <p>(2) 余暇支援冊子の更新</p> <p>(3) 次年度の新たな取り組みについて</p>	
協議事項	<p>・進行</p> <p>1. 報告事項</p> <p>(1) WG 活動報告 第2回強度行動障害支援者学習・交流会について、資料1を基に報告 【意見・協議など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例提供事業所として、事前打ち合わせから参考になることがあったと報告を受けている。 ・参加者の報告より、他の事業所事例を聴くことが良かった。Zoom で限られた時間であり話す時間の短さは感じられたとのことであった。継続的に実施ができると良い。オンラインであれば開催回数も増やしても良いと考える。 ・継続してやっていくことが大事であるのと、ゆっくり話せるような機会も大事 ・勉強になったという点が大事。Zoom は移動がなく時間が有益とは思う。Zoom と集合で聞こえ方が違うため、集合のできるのであれば集合をやれると良い。 <p>(2) 「障がい者のためのクラブ・サークル紹介」の掲載について、別紙1・2、資料2を基に報告 【意見・協議など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市社協に平成10年代で余暇支援冊子を作成していた経緯がある。冊子作成のニーズがあった。広げていくに当たって居宅生活支援部会で取り上げることとなった。 ・民生員の立場として、案内の仕方が分からないが、興味関心が持てるように広げていくことを考える必要がある。 ・ホームページを見る人は限られるように感じる。例えば全ての公民館に置く、学校に渡す、公共の場に閲覧できるよう置かせてもらおうと良いと思う。 ・視覚障がいがある方が自閉的な生活にならないよう、活動を10年している。活動報告をしている。 <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 次年度以降の強度行動障害支援者学習・交流会開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催目的に振り返って、受け皿が広がれば、強度行動障害がある方が困らないことに繋が 	

	<p>るため、継続していくことが望ましいと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供事業所の意見を反映していくことが望ましいことから、運営メンバーも検討と、オンラインで開催のしやすさから、開催回数も検討する。 <p>(2) 余暇支援冊子の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の更新は、当時のものを確認することだけであり、電話確認から結果的に少なくなっていたという経緯がある。当時の更新時に出た意見として、スポーツジムなど健常者も利用できる社会資源の掲載があった。時間的余裕から着手できなかったため、今回更新するに当たって、新しいところの掲載も含めて早めにとりかかれると良いのではないかと考える。 ・余暇活動が利用しにくい中で、誰でも利用できる施設で障がいがある方が利用できた事例を聞いた。社会資源の理解が得られれば掲載の幅を広げていくのは良いと思う。周知当たっては、QRコードの活用も良いと考える。 ・ホームページだけでなく、様々な機関で情報が得られるような方法を考える。 <p>(3) 次年度の新たな取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で企画物が直前で中止になっている。会員が毎年減っている。背景としては会費を払っても行事がないということにある。知的障害がある方の余暇活動に繋がるように、周知方法など何か案がないかと考えている。 ・活動がしにくい現状から、人との繋がりが乏しくなっている。 ・同じ障がいがある方同士の口コミから余暇活動が広がっていくことはある。障がい種別が違えど、障がいがある方々に何ができると良いかを考えることが大事。 ・居宅介護のサービス提供に当たり、日々新規の問い合わせがあり、それは福井市外からも同様。ニーズがあってもサービスが提供できない現状について、結論としては、福祉人材が不足していることに繋がっていると感じている。 ・人材確保は課題。障がいがある方をサポートしたり、余暇活動をするにしても人であることから、人材確保に繋がる活動に取り組んではどうか。 ・過去に福祉事業所を知るという目的で、事業所見学ツアーをしたことがある。
協議結果	<p>協議事項1 <u>強度行動障害支援者学習・交流会の継続</u> についての決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も継続して開催する。 ・次年度の開催について、WTと協議して決定していく。 <p>協議事項2 <u>余暇支援冊子の更新</u> についての決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会メンバーで活用できる社会資源の情報を持ち寄る。 ・役割を協議し、グループ分けして作成に取り組む。 <p>協議事項3 <u>次年度の新たな取り組み</u> についての決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議事項を「福祉人材確保」とする。 ・障がい福祉を知ってもらい、関係団体を増やす、人材確保といった視点からイベント開催について検討する。次回部会で意見をもち寄る。
次回	来年度

